

最先端研究開発支援ワーキングチーム（第4回）議事概要

● 日時 平成21年8月11日（火）9：31～10：52

● 場所 中央合同庁舎第4号館4階 共用第4特別会議室

● 出席者

座長	相澤 益男	総合科学技術会議議員
座長代理	本庶 佑	総合科学技術会議議員
構成員	奥村 直樹	総合科学技術会議議員
同	白石 隆	総合科学技術会議議員
同	榎原 定征	総合科学技術会議議員
同	今榮 東洋子	総合科学技術会議議員
同	青木 玲子	総合科学技術会議議員
同	金澤 一郎	総合科学技術会議議員、日本学術會議会長
同	有信 瞳弘	株式会社東芝顧問
同	飯塚 哲哉	ザインエレクトロニクス株式会社代表取締役
同	石谷 久	東京大学名誉教授
同	勝木 元也	自然科学研究機構理事、独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター副所長
同	岸 輝雄	独立行政法人物質・材料研究機構顧問
同	佐藤 勝彦	明星大学客員教授
同	中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究所教授
同	中村 道治	株式会社日立製作所取締役
同	西尾 章治郎	大阪大学理事・副学長
同	西島 和三	持田製薬株式会社医薬開発本部専任主事
同	橋本 和仁	東京大学大学院工学系研究科教授
同	松見 芳男	伊藤忠商事株式会社理事・伊藤忠先端技術戦略研究所所長
同	渡邊 浩之	トヨタ自動車株式会社技監

● 議題

- (1) ヒアリング対象の選定等について
- (2) その他

● 議事概要

(注) 本会議は個別具体的な研究者名や研究課題名に言及した議論がなされたため、傍聴は不可（非公開）とされた。本議事概要についても、それらが特定されない形での公表とするものである。

(1) ヒアリング対象の選定等について

(議題1について、ヒアリングの実施及び対象について、構成員から合意を得た。)

(2) その他

【A構成員】

中心研究者が何らかの事情でヒアリングに来られないということは基本的にはあり得ない。不測の事態ならいざ知らず、共同研究者に代理で説明をお願いするということは不可とすべきである。（補足：中心研究者がヒアリングに来られない場合の対応方法についての議論を受けての発言。）

【B構成員】

支援対象となる研究課題の予算については、どこかの機会できちと積算をやり直すべき。国民から無駄遣いの批判を受けないようにすることが重要。

【C構成員】

最初の予算の査定は重要。また、例えば、2年後に研究がうまくいっているかを確認し、その予算でフィージブルなのかを再度検討するという方法もあり得るのではないか。

【D構成員】

予算について今後ワーキングチームで議論すべき。2,700億円を無駄にしてはいけない。

【E構成員】

著名な研究者が選ばれることになる可能性が高く、それはもっともなこではあるが、このような方々の中には、社会還元や産業化になかなか結びついていないという方もいる。巨額の資金を使うわけだから、産業力強化や、世界のトップを目指し日本を成長させるといった基本的な心構えをリマインドする必要性があると思われる。

【F構成員】

規模の小さい研究課題は束ねたり融合したり出来ないかも議論すべきではないか。

(了)